

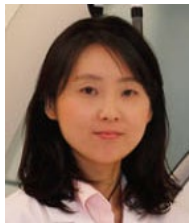
目標9 2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現

逆境の中でも前向きに生きられる社会の実現

Project manager

山田 真希子

量子科学技術研究開発機構
量子医科学研究所
グループリーダー



代表 機関

量子科学技術研究開発機構

研究開発機関

株式会社アラヤ
カリフォルニア工科大学
国立がん研究センター
玉川大学
筑波大学
東京医科歯科大学
NTTコミュニケーション科学基礎
研究所
北海道大学
量子科学技術研究開発機構

プロジェクト概要

逆境の中でも人々が「前向き」に生きられる社会の実現を目指すため、多様で多義的な「前向き」の構成要素を明確にし、身体姿勢および脳・生理反応の計測により前向き指標を算出し、前向き支援技術により個人の状況に合わせた前向き要素をアシスト・訓練・教育するための技術を確認します。

目指す社会像

逆境を自ら乗り越えることで幸福感を得る世界



逆境の中の前向き=逆境や困難に挑もう・乗り越えようとする心の動き

「チャンスは苦境の最中にある」(アインシュタイン)
～逆境を乗り越えるたびに、人は強くなる～

2032年のマイルストーン

不察知計測による前向き推定技術を確認し、前向きアシスト技術・訓練技術・支援基盤を確認する

2027年のマイルストーン

身体情報からこころの「前向き」を推定する手法を確認し、文脈に適した前向き要素と程度を明確にする

プロジェクト内の研究開発テーマ構成

